

平成14年度総会

日時 :平成14年6月2日(日)
会場 :香川県民ホール多目的会議室



社団法人

日本超音波医学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-1
クロセビア本郷3F

U R L :<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsum/>

T E L :03-3813-5540

F A X :03-3816-7644

E-Mail jin-jsum@catnet.ne.jp

平成14年度総会次第

日時：平成14年6月2日(日) 12時00分～13時00分

会場：香川県民ホール 多目的会議室

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1.平成13年度事業報告	(資料1)	庶務担当理事
2.平成13年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3.平成13年度収支決算監査報告	(資料3)	監事
4.平成14年度事業計画(案)	(資料4)	庶務担当理事
5.平成14年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6.平成14・15年度役員及び評議員の選任	(資料6)	理事長
7.会員の除名	(資料7)	理事長
8.名誉会員推薦	(資料8)	理事長
9.その他		理事長
新理事長挨拶		次期理事長
議事録署名人の選出		議長
閉会		議長
名誉会員の表彰		理事長
第4回特別学会賞表彰		理事長
第1回松尾賞表彰		理事長
第2回技術賞表彰		理事長
第16回菊池賞(論文賞)表彰		理事長
第3回奨励賞表彰		理事長

(資料1)

平成13年度事業報告

(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

会員現況

(平成14年3月31日現在)

会員種別	平成13年3月31日 現在数	平成14年3月31日 現在数	増 減	備 考
名誉会員	14	15	+ 1	
功労会員	26	28	+ 2	
正 会 員	9,054	8,835	- 219	
準 会 員	4,591	4,635	+ 44	
学生会員	16	13	- 3	
賛助会員	31(90口)	30(88口)	- 1	
計	13,732	13,556	- 176	

名誉会員(*物故者)

*青柳 健次郎 *加藤 金子 *金 正 郎 *菊 池 喜 充 *田 中 憲 二 *吉 田 常 雄 *吉 岡 勝 哉
*永山 徳克 *岡 山 大 益 仁 尚 明 *池 吉 純 一 *林 有 賀 藤 周 三 *古 賀 井 敏 夫 *海 老 名 敏 明
*板原 村 基 *奥 山 泰 基 *次 郎 哉 治 良 *竹 原 靖 明 *福 田 守 道 *安 渡 藤 松 弘 決 *井 出 正 裕 *尾 本 良 三
(以上29名)

学会誌

1. 平成13年度は、学会誌「超音波医学」(和文誌)第28巻3号から第29巻2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第28巻Summer号・Autumn号・Winter号と第29巻Spring号まで4冊、計11冊を発行した。
内容は次のとおり

巻号	28- 3	28- 4	28- 5	28- 6	28- 7	29- 1	29- 2	28- Sum	28- Aut	28- Win	29- Spr	
本文ページ数	500	76	167	41	112	141	97	38	58	50	38	
主	原著 (Original Research Article)	0 (0)	12 (1)	6 (1)	6 (1)	8 (1)	6 (1)	20 (20)	6 (1)	20 (3)	8 (1)	8 (1)
	症例報告 (Case Report)	0 (0)	12 (2)	12 (2)	12 (2)	16 (3)	18 (3)	12 (20)	6 (1)	0 (0)	4 (1)	4 (1)
	翻訳 (Original Research Article)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (3)	32 (4)	34 (3)	8 (1)
な	翻訳 (Case Report)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (2)
	技術報告 (Technical Note)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
論	総説	0 (0)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	Letters to the Editor	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Editorial	0	2	2	2	2	2	2	2	4	2	2
文	Review	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Basic Education	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学術集会プログラム	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベ	学術集会抄録	392	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会告	0	3	33	8	17	31	9	0	0	0	0
	研究会報告	0	0	4	0	0	9	0	0	0	0	0
ジ	地方会抄録	0	30	38	5	35	55	29	0	0	0	0
	学会ニュース	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0
	その他	8	16	62	6	22	18	23	2	2	2	2

()内は掲載論文等の数

特別学会賞

第3回特別学会賞は、次の1名に授与された。
町井 潔(元東邦大学教授)

菊池賞(論文賞)

第15回菊池賞(論文賞)は、次の5編の論文に授与された。

基礎領域

Study of the Mechanisms of Drug Excitation in Sonodynamic Therapy: Direct Measurement of the Acoustic Cavitation-Induced Luminescence of Photosensitizers27(1)
高橋 昇 上之原広司 佐々木啓吾 吉本高志

循環器領域

インスリン抵抗性患者における冠微小循環障害の評価：経胸壁ドプラ心エコー図法を用いた冠予備能による検討27(3)
平尾健一 水重克文 近藤 功 高木雄一郎 辻 哲平 千田彰一 松尾裕英

The Difference Between the Right and Left Pulmonary Veins27(9)
板東完治 福田信夫 篠原尚典 武市直樹 添木 武田中英治 田村禎通

腹部領域

パワードブラ法による胆嚢静脈灌流様式の検討27(1)
 刑部 恵介 堀口 祐爾 今井 英夫 坂本 宏司 鈴木 智博 久保 裕史 上松 正尚 竹内 文康
 中村 祐子 林 隆男 浅野 正裕 西川 徹 久志 有子 中野 浩
 超音波ドブラ法、B-flow、USangiographyでとらえられた肝内肝動脈走行に関する新知見：門脈流に対する肝動脈の中枢側分岐性について27(10)
 梶尾 人司 岩崎 信広 中村 仁美 太田 圭子 曽我 登志子 西馬 信一 福永 豊和 岡部 純弘
 櫻田 博史 平 彦 佐 昌弘 伊 吹 康良 藤本 敏明 森本 義人 工藤 正俊 富田 周介 小西 豊
 織野 彬

学術集会

第74回学術集会(会長 伊東正安)は、平成13年5月19日(土)、20日(日)、21日(月)の3日間、東京ビックサイト(東京都)を会場として開催した。参加人員2,865名、発表内容は下記のとおり。

第74回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 8 一般演題 286(循環器53,消化器122,産婦人科21,泌尿器 16,体 表 17,基礎42,その他15) 合計 294題
招請講演	1)Elastography 2)New Opportunities for EchoContrast AgentsinOncology
メインシンポジウム	1)医用超音波技術の最前線
シンポジウム	1)内視鏡超音波法の現況と将来(消化器) 2)エコー法による虚血性心疾患診療の進歩(循環器) 3)膀胱超音波診断の新しい展開(泌尿器) 4)双胎間輸血症候群の診断と管理(産婦人科) 5)甲状腺濾胞腫瘍の超音波診断(体表)
横断シンポジウム	1)組織弾性の理論と表示 2)デジタル超音波技術 3)Tissue Harmonic Imagingの理論と実際 4)造影エコー法の理論と実際
公募シンポジウム	1)動脈硬化の判定は可能か 2)肝腫瘍における造影エコー法の応用
パネル討論	1)3D超音波診断
インターネットディスカッション	1)血流量計測の臨床応用と問題点(臓器血流量計測の意義、臨床応用、問題点)
リフレッシュセッション	1)超音波の安全性に関する理解を深めよう 2)超音波技術の医用診断 Q&A
ランチョンセミナー	1)Advanced Dynamic Flowとコントラスト映像化技術 2)携帯型超音波診断装置の新たな展開 3)コントラスト造影法の臨床と新技術 4)超音波画像診断装置の新技術 5)腹部造影超音波及びSono CT
その他	検査士セッション 新技術開発セッション
機器展示	26社

地方会学術集会

1. 下記の地方会学術集会が開催された。

a. 北海道地方会学術集会

第21回 会長 高後 裕
平成13年7月14日 於：旭川医科大学医学部看護学科大講堂 (旭川市) 参加者：86名 演題数：18題
第22回 会長 宮坂 和男
平成14年3月9日 於：北海道大学医学部臨床大講堂 (札幌市) 参加者：163名 演題数：22題

b. 東北地方会学術集会

第22回 会長 林 仁守
平成13年9月23日 於：東北大学医学部良陵会館 (仙台市) 参加者：147名 演題数：20題
第23回 会長 仁田 桂子
平成14年3月17日 於：東北大学医学部良陵会館 (仙台市) 参加者：237名 演題数：27題

c. 関東甲信越地方会学術集会

第13回 会長 税所 宏光
平成13年10月12日～13日 於：東京砂防会館・日本海運倶楽部 (千代田区) 参加者：1,120名 演題数：112題

d. 中部地方会学術集会

第16回 会長 改井 修
平成13年7月15日 於：名古屋国際会議場 (名古屋市) 参加者：403名 演題数：48題
第17回 会長 熊田 卓
平成14年2月17日 於：大垣サイトピアセンター (大垣市) 参加者：369名 演題数：49題

e. 関西地方会学術集会

第22回 会長 木原 康樹
平成13年9月1日 於：国立京都国際会議場 (京都市) 参加者：842名 演題数：107題
第23回 会長 工藤 正俊

- 平成14年1月26日 於：大阪国際会議場（大阪市） 参加者：963名 演題数：135題
- f. 中国地方学術集会
第37回 会長 村尾 文規
平成13年9月8日 於：広島医師会館（広島市） 参加者：188名 演題数：39題
- g. 四国地方学術集会
第11回 会長 久 直史
平成13年11月10日 於：高知県民文化ホール（高知市） 参加者：134名 演題数：29題
- h. 九州地方学術集会
第11回 会長 鄭 忠和
平成13年9月16日 於：鹿児島県自治会館（鹿児島市） 参加者：453名 演題数：77題

規約等の制定・改正等

1. 制定
 - (1) 社団法人日本超音波医学会 公印規則(平成13年6月29日制定)
 - (2) 社団法人日本超音波医学会 松尾賞選考内規(平成13年11月16日制定)
 - (3) 社団法人日本超音波医学会 公益事業を実施するために有する基金に関する申合せ(平成13年11月16日理事会承認)
2. 改正
 - (1) 社団法人日本超音波医学会 職員給与規則(平成13年4月27日改正)
 - (2) 社団法人日本超音波医学会 認定超音波検査士資格更新実施内規(平成13年4月27日改正)
 - (3) 社団法人日本超音波医学会 奨学制度(JSUM Fellowship)実施要領(平成13年4月27日改正)
 - (4) 社団法人日本超音波医学会 研究開発促進委員会規程(平成13年4月27日改正)
 - (5) JMedUltrasonics超音波医学 投稿要領(平成13年9月21日理事会改正)
 - (6) 社団法人日本超音波医学会 認定超音波指導医の推薦に関する申合せ(平成13年11月16日理事会改正)
 - (7) 社団法人日本超音波医学会 職員給与規則(平成14年1月18日改正)
 - (8) 社団法人日本超音波医学会 教育委員会規程(平成14年1月18日改正)
 - (9) 社団法人日本超音波医学会 地方会規程(平成14年1月18日改正)
 - (10) 社団法人日本超音波医学会 顕彰委員会規程(平成14年1月18日改正)
 - (11) 社団法人日本超音波医学会 公益事業を実施するために有する基金に関する申合せ(平成14年3月8日理事会改正)

講習会及び専門医・検査士セミナー

- 専門医・検査士セミナー
第19回
平成13年5月19日 於：東京ビックサイト(東京都) 参加者308名

各種委員会等報告

1. 企画委員会(委員長 伊東 正安)
 - a. 日本超音波医学会創立40周年記念事業を本会が主催して「第75回学術集会」会期中に実施することについて、理事長宛に文書により答申を行った。
 - b. 学会におけるホームページ、電子メールの現状調査、及び将来の役割についてを討議した。
2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 遠藤 信行)
 - a. 「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行った。
 - b. DICOM規格に関する超音波画像の運用等についての検討を行った。
3. 編集委員会(委員長 名取 博)

学会誌「超音波医学」(和文誌)第28巻3号から第29巻2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第28巻Summer号・Autumn号・Winter号と第29巻Spring号まで4冊、計11冊を発行した。(項参照)
4. 用語・診断基準委員会(委員長 岡井 崇)
 - a. 医用超音波用語集改訂作業
 - 1) 各領域別小委員会にて収載済の用語の見直し、また新しく収録すべき用語の検討を開始し、原案を作成した。
 - 2) 用語集改訂版の編集方針を検討した。
 - b. 超音波診断基準の作成及び公示
 - 1) 「超音波胎児計測のと日本人の基準値」(案)を学会誌に公示した。(超音波医学第28巻5号掲載)
 - 2) 「縦隔腫瘍の超音波診断基準」(案)を学会誌に公示した。(超音波医学第28巻7号掲載)
 - 3) 「乳腺疾患超音波診断基準」(案)の作成に向けての検討を行った。
 - c. 診断基準の維持・管理について検討し、今後の方針を策定した。
 - d. 用語・診断基準について学会ホームページへの掲載について検討した。
 - e. 用語・診断基準について会員等からの意見の収集と整理を行った。
5. 保険委員会(委員長 跡見 裕)
 - a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定及び新規適用項目を取りまとめて、要望書を提出した。
 - b. 他学会及び関係団体との情報交換を行った。
 - c. 会員等から保険診療の査定方針等の意見の収集と整理を行った。
6. 国際交流委員会(委員長 松崎 益徳)
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係

「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。

 - 1) 2001年度超音波医学会Fellowship研修生を公募し、選考を行い、3名の研修を実施した。
 - 2) 本学会指導医・専門医を中心としたアンケート調査によるFellowship研修生の研修受け入れの可能な施設の選定を行った。
 - 3) 今後の検討課題について、委員会を開催して検討を行った。
 - b. 世界超音波医学術連合(WFUMB)関係

2003年にモントリオール(カナダ)にて開催される第10回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
 - c. アジア超音波医学術連合(AFSUMB)関係

2001年にクワラルンブル(マレーシア)にて開催された第6回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
7. 教育委員会(委員長 北 昌 顕)
 - a. 第19回超音波専門医・検査士セミナーの実施 (項参照)
 - b. 超音波専門医・検査士セミナーの見直し
 - 1) 学術集会の教育プログラム充実を目的に、その実施枠を拡大し、企画の多様化・柔軟化を図った。具体的な企画内容は、

本委員会の提案に基づき学術集會会長が決定することとした。

- c. 医学教育モデル・コア・カリキュラムの検討
 - 1) 本委員会ででの討議に基づき、「コア・カリキュラム」における超音波医学の記載を充実させた。
- d. 卒後超音波医学研修ガイドライン策定小委員会の設置
 - 1) 本委員会が専門医制度委員会と協力し、小委員会を設置し、研修ガイドライン策定作業を開始した。
8. 超音波専門医制度委員会(委員長 千田 彰一)
 - a. 第11回超音波専門医認定試験を実施し、合格者50名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成13年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第28巻5号)
 - b. 第7回超音波専門医資格更新を実施し、更新者178名、猶予・保留者8名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成13年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第28巻6号)
 - c. 平成13年度超音波指導医の認定審査を行い、新規36名、及び更新83名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成13年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第28巻7号)
なお、指導医候補者推薦に関し規約改訂が行われ、公募・自薦による方式が加わった。
 - d. 平成14年1月1日現在での超音波指導医・所属施設一覧を公示した。(超音波医学第29巻1号)
 - e. 平成14年度研修施設の指定審査を行い、新規22施設、更新180施設を指定して、学会誌に公示し、併せて平成14年4月1日付で認定証を交付する。(超音波医学第29巻2号)
 - f. 第12回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第29巻1号)
 - g. 第8回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第29巻2号)
 - h. 超音波専門医制度の改革を審議した。
 - 1) ワーキンググループ(専門医関連文書の整備/生涯教育関係/資格更新簡素化/試験問題関係/指導医関係)を設置して、それぞれについて、改革及び整備の審議を行った。
 - 2) 本制度に関わる諸文書の様式整備を促進した。
 - 3) 超音波指導医候補者推薦方法の改革を行った。
 - i. 超音波専門医制度の普及・充実に努めた。
 - 1) 「専門医取得のための超音波医学研修手帳」の頒布拡大の広報活動を行った。
 - 2) 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂第3版)を発行し、更に同版第2刷を発行する。
 - 3) 超音波指導医の後進育成促進を啓蒙した。
 - j. 卒前・卒後の教育カリキュラムについて、教育委員会と合同で検討を行い、卒後超音波医学研修ガイドライン策定小委員会に、委員を派遣した。
 - k. 専門医認定制協議会、第1回、及び第2回評議員会に出席した。
9. 顕彰委員会(委員長 菅原 基晃)
 - a. 第15回菊地賞(論文賞)の選考を行い、5編を授賞した。
 - b. 第3回特別学会賞の選考を行い、1名を授賞した。
 - c. 第2回奨励賞の選考を行い、6名を授賞した。
 - d. 第1回技術賞の選考を行い、3名を授賞した。
 - e. 松尾賞選考内規の制定を行った。
10. 超音波検査士制度委員会(委員長 秋本 伸)
 - a. 第17回超音波検査士認定試験を実施し、合格者781名を学会誌に掲載した。(超音波医学第29巻2号)
 - b. 2002年超音波検査士資格更新を実施し、更新者406名を学会誌に掲載した。(超音波医学第29巻3号)
 - c. 超音波医学研修ガイドライン2001年版を発行した。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 遠藤 信行)
 - a. 第3回超音波工学フェローの認定審査を行い、5名に対して工学フェローの認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて希望者には平成13年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。(超音波医学第28巻5号)
 - b. 第4回超音波工学フェローの公募実施に関する会告を公示した。(超音波医学第28巻7号)
 - c. 超音波工学フェロー資格更新に関する検討を行った。
12. 研究開発促進委員会(委員長 棚橋 善克)
 - a. 第1回研究開発班設置申請17件の審査を行い、4件の開発班の設置を認可した。
 - b. 第74回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施した。
また、「特許相談コーナー」を設け、法律事務所の弁護士が対応した。
 - c. 「超音波治療技術研究会」の設置を新たに承認し、2研究会が以下の通り活動を行った。
 - 1) 超音波治療技術研究会
代表者：山下 裕一
第1回/平成13年9月1日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：40名 発表件数：4件
第2回/平成13年12月1日 於：バンフィコ横浜(神奈川県) 参加者：17名 発表件数：5件
第3回/平成14年3月28日 於：福岡大学七隈キャンパス(福岡県) 参加者：133名 発表件数：30件
第3回国際音響化学療法シンポジウムと併催
 - 2) 基礎技術研究会
代表者：秋山 いわき
第1回/平成13年6月22日 於：奈良先端科学技術大学院大学(奈良県) 参加者：17名 発表件数：6件
第2回/平成13年9月22日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：38名 発表件数：5件
第3回/平成13年10月22日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：28名 発表件数：7件
第4回/平成13年12月22日 於：上智大学四谷校舎(東京都) 参加者：23名 発表件数：7件
 - d. 第2回(平成14年度)研究開発班設置申請に関する会告を公示し(超音波医学第28巻6号)、応募書類を審査した。
13. 会員資格審査関係(担当理事(主) 森安 史典)
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
14. 学術集會関係(担当理事(主) 伊東 紘一)
 - a. 「学術集會会長間の申し送り事項」の整備を行った。
15. 地方会関係(担当理事(主) 跡見 裕)
 - a. 各地方会運営委員長会議を開催した。
 - b. 教育委員会から移行(平成13年度以降)された超音波診断法講習会を各地方会学術集会で実施することについての検討を行った。

c. 地方開学術集会経理に係る取り扱い要領等についての整備を行った。

16. 規約関係(担当理事(主) 羽田勝征)

a. 本会規約等の制定及び改正を行った。(項参照)

17. インターネット関係(担当理事(主) 伊東正安)

a. 各種委員会等の広報を行った。

b. 学会事業の開催案内(学術集会・地方会・研究会・講習会・認定試験)を行った。

c. 電子メール、インターネット環境の調査を行った。

d. 民間法人からのバナー広告の検討を行った。

日本医学会関係(担当理事 伊東統一)

1. 第69回日本医学会定例評議員会に参加した。

2. 日本医学会シンポジウムに協力した。

日本学術会議関係(担当理事 伊東統一)

1. ノーベル賞100周年記念国際フォーラム事業に協力した。

2. 日本学術会議協力財団の実施するアジア学術交流促進事業に協力した。

3. 日本学術会議第7部医療技術開発学術研究連絡委員会に参加した。

平成13年度収支計算書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科	目	予 算 額	決 算 額	差 額
基本財産運用収入	基本財産利息収入	150,000	50,600	99,400
会費収入		159,200,000	160,309,083	△ 1,109,083
	正会員会費	(111,527,000)	(109,875,583)	(1,651,417)
	準会員会費	(43,930,000)	(46,635,000)	(△ 2,705,000)
	学生会員会費	(63,000)	(38,500)	(24,500)
	賛助会員会費	(3,680,000)	(3,760,000)	(△ 80,000)
入会金収入		1,290,000	1,170,000	120,000
広告収入	学会誌	4,880,000	4,638,920	241,080
学術集会収入		58,650,000	78,633,731	△ 19,983,731
	参加費収入	(29,050,000)	(35,880,731)	(△ 6,830,731)
	展示収入	(29,600,000)	(42,753,000)	(△ 13,153,000)
学会誌別刷収入		850,000	1,312,000	△ 462,000
WFUMB会誌収入		2,200,000	1,880,000	320,000
専門医制度関係収入		5,160,000	5,157,500	2,500
	認定試験	(2,160,000)	(2,120,000)	(40,000)
	更新認定料	(1,980,000)	(1,812,000)	(168,000)
	資料頒布料	(1,020,000)	(1,225,500)	(△ 205,500)
検査士制度関係収入		25,035,000	26,127,000	△ 1,092,000
	認定試験	(23,350,000)	(23,850,000)	(△ 500,000)
	更新認定料	(1,485,000)	(2,230,000)	(△ 745,000)
	資料頒布料	(200,000)	(47,000)	(153,000)
教育関係収入		600,000	614,000	△ 14,000
	専門医・検査士セミナー収入	(600,000)	(614,000)	(△ 14,000)
雑収入		2,800,000	1,665,608	1,134,392
寄付金収入		0	10,000,000	△ 10,000,000
受取利息		800,000	308,783	491,217
特定預金取崩収入		1,000,000	1,000,000	0
	選挙関係積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
当期収入合計(A)		262,615,000	292,867,225	△ 30,252,225
前期繰越収支差額		0	70,380,555	△ 70,380,555
収入合計(B)		262,615,000	363,247,780	△ 100,632,780

支出の部

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
事業費	学会誌経費	67,050,000	81,097,583	△ 14,047,583
	出版費	(39,450,000)	(45,153,921)	(△ 5,703,921)
	発送経費	(20,000,000)	(29,958,456)	(△ 9,958,456)
	編集委員会費	(1,800,000)	(1,263,770)	(536,230)
	英文校正費	(5,000,000)	(4,371,536)	(628,464)
	査読通信費	(800,000)	(349,900)	(450,100)
	国際交流関係費	6,840,000	7,520,047	△ 680,047
	委員会費	(200,000)	(430,381)	(△ 230,381)
	奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
	AFSUMB分担金	(3,040,000)	(3,489,666)	(△ 449,666)
	WFUMB機関誌代	2,600,000	2,797,476	△ 197,476
	学術集会関係費	59,000,000	52,264,393	6,735,607
	学術集会経費	(58,900,000)	(52,217,653)	(6,682,347)
	学術集会委員会費	(100,000)	(46,740)	(53,260)
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
	委員会等費	5,270,000	2,256,590	3,013,410
	地方会関係費	13,840,000	11,758,269	2,081,731
	研究開発促進委員会費	12,300,000	12,357,072	△ 57,072
	研究助成金	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
	研究開発促進委員会費	(1,600,000)	(1,657,072)	(△ 57,072)
	研究会関係費	(700,000)	(700,000)	(0)
	専門医制度委員会費	3,800,000	5,488,797	△ 1,688,797
	専門医認定関係費	(2,320,000)	(3,014,160)	(△ 694,160)
	専門医制度委員会費	(1,480,000)	(1,837,497)	(△ 357,497)
	頒布資料印刷費	(0)	(637,140)	(△ 637,140)
	検査士制度委員会費	16,300,000	10,990,289	5,309,711
	検査士認定関係費	(11,750,000)	(10,194,834)	(1,555,166)
	検査士制度委員会費	(4,400,000)	(718,280)	(3,681,720)
	頒布資料印刷費	(150,000)	(77,175)	(72,825)
	教育委員会費	1,100,000	1,053,830	46,170
	専門医・検査士セミナー	(410,000)	(207,050)	(202,950)
	教育委員会費	(590,000)	(846,780)	(△ 256,780)
	生涯教育費	(100,000)	(0)	(100,000)
	顕彰委員会関係費	6,000,000	4,437,667	1,562,333
事業費計		196,100,000	194,022,013	2,077,987
事務費	人件費	32,485,000	33,087,528	△ 602,528
	会計顧問料	500,000	500,000	0
	福利厚生費	710,000	672,900	37,100
	法定福利費	3,800,000	3,413,984	386,016
	職員交通費	1,510,000	1,517,600	△ 7,600
	事務所賃借料	8,140,000	8,132,652	7,348
	事務用機器賃借料	630,000	640,080	△ 10,080
	備品費	500,000	0	500,000
	文具消耗品費	700,000	802,474	△ 102,474
	光熱水料	750,000	682,712	67,288
	事務OA化費	1,600,000	1,750,663	△ 150,663
	会議費	3,200,000	3,783,906	△ 583,906
	印刷費	1,690,000	1,244,335	445,665
	通信費	4,000,000	3,221,701	778,299
	公租公課	1,250,000	1,486,800	△ 236,800
	雑費	700,000	420,477	279,523
	払込手数料	1,300,000	1,213,852	86,148
	選挙関係費	2,000,000	2,143,099	△ 143,099
事務費計		65,465,000	64,714,763	750,237
特定預金支出	退職給与引当預金支出	550,000	550,000	0
	松尾賞基金支出	0	10,000,000	△ 10,000,000
	研究開発班設置基金支出	0	26,000,000	△ 26,000,000
予備費		500,000	0	500,000
当期支出合計(C)		262,615,000	295,286,776	△ 32,671,776
当期収支差額(A)-(C)		0	△ 2,419,551	2,419,551
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	67,961,004	△ 67,961,004

正味財産増減計算書
平成13年4月1日から平成14年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
退職給与引当預金増加額	550,000		
松尾賞基金増加額	10,000,000		
研究開発班設置基金増加額	26,000,000		
		36,550,000	
2 負債減少額			
		0	
増加額合計			36,550,000
II 減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額	2,419,551		
選挙関係積立預金取崩額	1,000,000		
		3,419,551	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,732,300		
		1,732,300	
減少額合計			5,151,851
当期正味財産増加額			31,398,149
前期繰越正味財産額			340,378,165
期末正味財産額合計			371,776,314

貸 借 対 照 表
平成14年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	83,146,811	
郵便振替	75,811,240	
前払金	5,316,256	
仮払金	5,000,000	
未収入金	885,500	
流動資産合計		170,159,807
2 固定資産		
1)基本財産		
投資有価証券	36,000,000	
基本財産合計	36,000,000	
2)その他の固定資産		
退職給与引当預金	6,286,010	
減価償却引当預金	2,500,000	
国際交流積立預金	4,500,000	
名簿刊行積立預金	10,000,000	
選挙関係費積立預金	1,000,000	
事務所整備積立預金	84,000,000	
学術奨励積立預金	115,500,000	
松尾賞基金預金	10,000,000	
研究開発班設置基金預金	26,000,000	
電話加入権	192,800	
家屋賃貸借契約敷金	16,384,500	
その他の固定資産合計	276,363,310	
固定資産合計		312,363,310
資 産 合 計		482,523,117
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	98,780,500	
仮受金	2,126,500	
未払金	1,087,980	
預り金	203,823	
流動負債合計		102,198,803
2 固定負債		
退職給与引当金	8,548,000	
固定負債合計		8,548,000
負 債 合 計		110,746,803
III 正味財産の部		
正味財産		371,776,314
(うち基本金)		(36,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(31,398,149)
負債及び正味財産合計		482,523,117

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
個別法に基づく原価基準である。
- (2) 退職給与引当金の計上基準
職員が自己都合により退職した場合に対する退職金の100%相当額を計上している。
- (3) 資金の範囲
資金の範囲は、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金および預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。
- (4) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。
2. 基本財産の増減はない。
3. 担保に供している資産はない。
4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	175,688,538	158,958,051
前払金	2,296,450	5,316,256
仮払金	0	5,000,000
未収入金	585,264	885,500
合 計	178,570,252	170,159,807
前受金	104,947,000	98,780,500
仮受金	1,919,000	2,126,500
未払金	1,217,060	1,087,980
預り金	106,637	203,823
合 計	108,189,697	102,198,803
次期繰越収支差額	70,380,555	67,961,004

5. 保証債務はない。

平成14年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手許有高	275,933	
普通預金	あさひ銀行本郷支店ほか	82,870,878	
郵便振替	東京00130-8-93294	75,811,240	
前払金	第75回学術集会補助金	2,000,000	
〃	第12回専門医認定試験会場借料ほか	3,316,256	
仮払金	第75回学術集会貸付金	5,000,000	
未収入金	学会誌(Vol.28-7)以降広告料	680,000	
〃	学会誌(Vol.27-2)以降別刷料ほか	205,500	
流動資産	合 計		170,159,807
2 固定資産			
1) 基本財産			
投資有価証券	中央三井信託銀行日本橋営業部 貸付信託	36,000,000	
基本財産	合 計	36,000,000	
2) その他の固定資産			
退職給与引当預金	あさひ銀行本郷支店 定期預金	6,286,010	
減価償却引当預金	〃	2,500,000	
国際交流積立預金	UFJ銀行本郷支店	4,500,000	
名簿刊行積立預金	あさひ銀行本郷支店	10,000,000	
選挙関係費積立預金	UFJ銀行本郷支店	1,000,000	
事務所整備積立預金	東京三菱銀行本郷支店	84,000,000	
学術奨励積立預金	UFJ銀行本郷支店	30,000,000	
〃	第一勧業銀行本郷支店	85,500,000	
松尾賞基金預金	郵便局	10,000,000	
研究開発班設置基金	UFJ銀行本郷支店	26,000,000	
電話加入権	3813-5540,5804-8410	192,800	
敷金	(有)クロセビアビル	16,384,500	
その他の固定資産	合 計	276,363,310	
固定資産	合 計		312,363,310
資産	合 計		482,523,117
II 負債の部			
1 流動負債			
前受会費	平成14年度以降分会費	97,270,500	
前受WFUMB	平成14年度WFUMB購読料	1,490,000	
前受専門医	第12回専門医試験受験料	20,000	
会費仮受金	入会未承認新入会員入金分	2,126,500	
未払金	委員会会議費	282,980	
〃	平成13年度消費税	805,000	
預り金	平成13年度分雇用保険料ほか	203,823	
流動負債	合 計		102,198,803
2 固定負債			
退職給与引当金		8,548,000	
固定負債	合 計	8,548,000	
負債	合 計		110,746,803
正味財産	合 計		371,776,314

平成13年度収支決算監査報告

平成13年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な経理が行われたことを認めます。

平成14年4月22日

社団法人日本超音波医学会

監事 吉川純一 

監事 八木晋一 

監査報告書

社団法人日本超音波医学会
理事長 伊東 総一 殿

平成14年4月22日
八重洲監査法人
代表社員・関与社員
公認会計士

稲葉 憲一 

関与社員
公認会計士

馬目利昭 

当監査法人は、社団法人日本超音波医学会のここに掲げられている平成13年4月1日から平成14年3月31日までの平成13年度事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った。

この監査に当たって、当監査法人は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、上記の計算書類は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び定款に従い、社団法人日本超音波医学会の平成14年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(資料4)

平成14年度事業計画(案)

(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

平成14年度における本会の事業計画は次のとおりである。

学会誌の発行

「超音波医学」(和文誌)第29巻Supplement号、第29巻3号から6号と第30巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第29巻Summer号・Autumn号・Winter号と第30巻Spring号まで4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

学術集会

1.学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第75回学術集会(会長 千田彰一)
平成14年6月1日～3日 於：香川県県民ホール他(香川県)

以降の予定

第76回学術集会(会長 名取 博)
平成15年5月9日～11日 於：北海道厚生年金会館他(北海道)

第77回学術集会・第7回AFSUMB大会(会長 伊東紘一)
平成16年5月17日～22日 於：栃木県総合文化センター(栃木県)

地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

a.北海道地方会学術集会

第23回 会長 島本 和明
平成14年10月5日 於：タケダ札幌ビル(札幌市)

第24回 会長 須賀 敏博
平成15年1月18日 於：教育文化会館(札幌市)

b.東北地方会学術集会

第24回 会長 金谷 透
平成14年9月21日 於：山形テルサ(山形市)

第25回 会長 棚橋 善克
平成15年3月9日 於：東北大学医学部良陵会館(仙台市)

c.関東甲信越地方会学術集会

第14回 会長 平井 寛則
平成14年9月14日～15日 於：新高輪プリンスホテル(東京都)

d.中部地方会学術集会

第18回 会長 岩瀬 正嗣
平成14年11月10日 於：名古屋国際会議場(名古屋市)

e.関西地方会学術集会

第24回 会長 平井都始子
平成14年8月31日 於：奈良県新公会堂(奈良市)

第25回 会長 本田 伸行
平成15年2月8日 於：大阪国際交流会館(大阪市)

f.中国地方会学術集会

第38回 会長 内藤 克輔
平成14年9月21日 於：山口グランドホテル(吉敷郡)

g.四国地方会学術集会

第12回 会長 井内 新
平成14年10月5日 於：長井記念ホール(徳島市)

h.九州地方会学術集会

第12回 会長 金光敬一郎
平成14年9月1日 於：熊本市市民会館・熊本市国際交流会館(熊本市)

教育セッション

平成14年6月1日 於：香川県県民ホール他(香川県)

各種委員会等

1.企画委員会

理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

2.機器及び安全に関する委員会

- 「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行う。
- DICOM規格に関する超音波画像の運用等について、さらに詳しく検討する。

3.編集委員会

「超音波医学」(和文誌)第29巻Supplement号、第29巻3号から6号と第30巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第29巻Summer号・Autumn号・Winter号と第30巻Spring号まで4冊、計11冊を発行する。

4.用語・診断基準委員会

- 医用超音波用語集改訂
 - 各領域の小委員会からの案、及び一般会員からの意見を再度整理し、他学会との調整を行い、改訂案を完成させる。
 - 用語改訂(案)を学会誌に公示する。
 - 医用超音波用語集(改訂版)を発行する。
- 超音波診断基準の作成
 - 「超音波胎児計測の標準化と日本人の基準値」に対する会員の意見を調整し、修正版を完成させる。
 - 「胆嚢癌の超音波診断基準」を学会誌に公示する。

- 3) 「縦隔腫瘍の超音波診断基準」を学会誌に公示する。
 - 4) 「乳腺疾患の超音波診断基準」(案)の検討及び審議を行う。
 - 5) 「循環器疾患の超音波診断基準」(案)の検討及び審議を行う。
5. 保険委員会
 - a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定、新規適用要望書を提出する。
 - b. 他学会及び関連学会との情報交換を行う。
 6. 国際交流委員会
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
1) 2002年度超音波Fellowship研修生を公募し、選考の上、研修を実施する。
2) 今後の検討課題について、委員会を開催し検討する。
 - b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)関係
2003年にモントリオール(カナダ)にて開催される第10回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - c. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)関係
1) 2004年に栃木県にて開催される第7回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
2) WFUMBからの要請による、本邦における超音波医学関連のCenter of Excellenceの設置を行う。
 7. 教育委員会
 - a. 第75回学術集会における教育的プログラムを実施する。
 - b. 第76回学術集会における教育的プログラムの企画内容を検討する。
 - c. 「超音波専門医・検査士セミナー」から「教育セッション」(仮称)への移行に関する規約等の整備を行う。
 - d. 卒後超音波医学研修ガイドラインの策定をする。
 8. 超音波専門医制度委員会
 - a. 第12回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付する。
 - b. 平成14年度超音波指導医の認定、委嘱を行った上で認定証を交付する。
 - c. 平成14年度研修施設の指定を行い、認定証を交付する。
 - d. 第13回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
 - e. 専門医制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
 - f. 本制度の改革・整備についての審議を行う。
 - g. 卒前・卒後教育カリキュラムの在り方の検討と関係諸方面への働きかけを教育委員会と合同で検討する。
 - h. 専門医制度に関する他学会との連携を深める。
 - i. 専門医認定協議会に出席する。
 9. 顕彰委員会
 - a. 第16回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
 - b. 第4回特別学会賞の選考を行う。
 - c. 第3回奨励賞の選考を行う。
 - d. 第2回技術賞の選考を行う。
 - e. 第1回松尾賞の選考を行う。
 10. 超音波検査士制度委員会
 - a. 第18回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 2003年超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 超音波検査士認定試験問題集の改訂を実施する。
 - d. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第4回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
 - b. 第5回超音波工学フェローの公募を行う。
 - c. 超音波工学フェロー資格更新に関する検討を行う。
 12. 研究開発促進委員会
 - a. 第2回研究開発班設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。
 - b. 第3回研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - c. 基礎技術研究会活動
代表：秋山いわき
幹事：飯島尋子、石蔵文信、石原 謙、伊東正安、上田光宏、梅村晋一郎、大矢晃久、金井 浩、
神山直久、工藤信樹、椎名 毅、炭 親良、竹内康人、立花克郎、谷口信行、千原國宏、
蜂屋弘之、原田烈光、山越芳樹
第1回 / 平成14年6月28日 於：東京工業大学大岡山キャンパス(東京都)
第2回 / 平成14年9月21日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)
第3回 / 平成14年10月25日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)
第4回 / 平成14年12月21日 於：福岡大学キャンパス(福岡県)
 - d. 超音波治療技術研究会活動
代表：山下裕一
幹事：井上 剛、梅村晋一郎、遠藤信行、岡 寿士、奥山伸男、黒肱敏彦、近藤 隆、工藤信樹、
椎名 毅、立花克郎、竹内康人、千原國宏、棚橋善克、森安史典、山越芳樹
第1回 / 平成14年9月21日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)
第2回 / 平成14年12月7日 於：昭和大学藤が丘病院講堂(神奈川県)
第3回 / 平成15年3月28日 於：福岡大学ヘリオスプラザ(福岡県)
 13. 会員資格審査関係
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。
1) 入会希望者及び退会希望者の審査
2) 除名該当者の審査
3) 会員種別変更希望者の審査
4) 休会希望者の審査
 14. 学術集会関係
 - a. 第7回AFSUMB大会(平成16年5月17日～22日)の諸準備を進める。

b. 第78回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に推薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。

15. 地方会関係

- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
 - 3) 地方会学術集會に関して助言を行う。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
- b. 地方会運営委員長会議の開催
 - 1) 各地方会運営委員長会議において相互の連絡を緊密に行う。
 - 2) 地方会運営要領の浸透を図る。
 - 3) 地方会のあり方、学術集會との棲み分けを検討する。
- c. 地方会講習会を各地方会学術集會に設けることについての検討を行う。

16. 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定及び改正について逐次審議し、作案する。

17. インターネット関係

- a. 英語版のホームページのさらなる充実を図る。
- b. 学術集會、地方会、研究会及び各種委員会等の広報の充実を図る。

. 日本医学会関係

- 1. 第70回日本医学会定例評議員会に参加する。
- 2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

. 日本学術会議関係

- 1. 日本学術会議協力財団の実施するアジア学術交流促進事業に協力する。
- 2. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加する。

(資料5)

平成14年度収支予算(案)

(単位：円)

収入の部

科	目	平成13年度予算	平成14年度予算	摘要
基本財産運用収入	基本財産利息収入	150,000	100,000	
会費収入		159,200,000	159,784,000	
	正会員会費	(111,527,000)	(110,851,000)	@13,000 ^円 x 8,527 ^人 (8,976 ^人 x 0.95)
	準会員会費	(43,930,000)	(45,190,000)	@10,000 ^円 x 4,519 ^人 (4,707 ^人 x 0.96)
	学生会員会費	(63,000)	(63,000)	@3,500 ^円 x 18 ^人
	賛助会員会費	(3,680,000)	(3,680,000)	@40,000 ^円 x 92 ^名 (32 ^名)
入会金収入		1,290,000	1,206,000	正@2,000 ^円 x 360 ^人 , 準@1,500 ^円 x 320 ^人 , 学生@1,000 ^円 x 6 ^人
広告収入	学会誌	4,880,000	4,440,000	2 ^冊 x @40,000 ^円 x 11 ^冊 , 7 ^冊 x @40,000 ^円 x 7 ^冊 , 8 ^冊 x @50,000 ^円 x 4 ^冊
学術集会収入		58,650,000	71,400,000	第75回
	参加費収入	(29,050,000)	(27,300,000)	
	展示収入	(29,600,000)	(44,100,000)	
地方会関係収入	地方会学術集会収入	0	34,200,000	
学会誌別刷収入		850,000	900,000	
WFUMB機関誌収入		2,200,000	2,100,000	@10,000 ^円 x 210 ^冊
専門医制度関係収入		5,160,000	4,680,000	
	認定試験	(2,160,000)	(2,160,000)	@20,000 ^円 x 60 ^人 ; @20,000 ^円 x 48 ^人
	更新認定料	(1,980,000)	(1,860,000)	@10,000 ^円 x 180 ^人 ; @5,000 ^円 x 12 ^人
	資料頒布料	(1,020,000)	(660,000)	問題集@4,500 ^円 x 80 ^冊 , 研修手帳@3,000 ^円 x 100 ^冊
検査士制度関係収入		25,035,000	27,550,000	
	認定試験	(23,350,000)	(24,450,000)	@20,000 ^円 x 1,030 ^人 , @5,000 ^円 x 770 ^人
	更新認定料	(1,485,000)	(2,900,000)	@5,000 ^円 x 575 ^人 ; @5,000 ^円 x 5 ^人 (猶予者)
	資料頒布料	(200,000)	(200,000)	ガイドライン@1,000 ^円 x 200 ^冊
教育関係収入	専門医・検査士セミナー	600,000	0	
雑収入		2,800,000	2,300,000	
受取利息収入		800,000	500,000	
特定預金取崩収入		1,000,000	1,000,000	
	選挙関係積立預金取崩収入	(1,000,000)	(0)	
	松尾賞積立預金取崩収入	(0)	(1,000,000)	
当期収入合計		262,615,000	310,160,000	
前期繰越収支差額				
収入合計				

支出の部

(単位：円)

科 目		平成13年度予算	平成14年度予算	摘 要	
事業費	学会誌経費	67,050,000	60,370,000		
	出版費	(39,450,000)	(33,370,000)		
	発送経費	(20,000,000)	(19,100,000)		
	編集委員会費	(1,800,000)	(1,800,000)		
	英文校正費	(5,000,000)	(4,500,000)	英文誌発行(4回/年)に伴う翻訳料を含む	
	査読通信費	(800,000)	(1,600,000)	ゲラ校正回数の増加	
	国際交流関係費	6,840,000	7,210,000		
	ワールドワイド奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	@200,000円/月x6ヶ月x3人	
	国際交流委員会費	(200,000)	(300,000)		
	AFSUMB分担金	(3,040,000)	(3,310,000)	@3人x123.00円/\$8,976人	
	WFUMB機関誌関係費	2,600,000	2,870,000	機関誌 @96円/年x210冊x123.00円/\$=2,479,680	
	学術集会経費	59,000,000	72,180,000	発送郵便代 390,320円/年	
	学術集会経費	(58,900,000)	(72,120,000)	第75回 71,400,000円,事務局旅費他 720,000円	
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	企画 400,000円,機器・安全 900,000円	
	委員会等関係費	5,270,000	3,800,000	保険 400,000円,用語・診断 750,000円	
	地方会関係費	13,840,000	48,000,000	規約 70,000円,インターネット 1,000,000円	
				工学ワールド 280,000円	
		地方会学術集会経費	(0)	(34,200,000)	
		地方会交付金	(13,840,000)	(13,450,000)	
		運営委員長会議費	(0)	(350,000)	
	専門医制度関係費	3,800,000	4,310,000		
		認定費	(2,320,000)	(2,780,000)	
		専門医制度委員会費	(1,480,000)	(1,530,000)	
検査士制度関係費	16,300,000	16,600,000			
	認定費	(11,750,000)	(14,200,000)	試験会場(東京・京都)	
	検査士制度委員会費	(4,400,000)	(2,250,000)		
	頒布資料印刷費	(150,000)	(150,000)	超音波医学研修ガイドライン	
教育関係費	1,100,000	1,560,000			
	専門医・検査士セミナー	(410,000)	(0)		
	教育委員会費	(590,000)	(810,000)		
	生涯教育費	(100,000)	(750,000)		
顕彰関係費	6,000,000	7,200,000			
研究開発促進関係費	12,300,000	15,200,000	卒後研修ガイドライン策定経費 特別学会賞,菊池賞(論文賞),奨励賞,技術賞 松尾賞		
	研究班設置費	(10,000,000)	(12,500,000)	継続分(2件)を含む	
	研究開発促進委員会費	(1,600,000)	(1,600,000)		
	研究会費	(700,000)	(1,100,000)	基礎技術 700,000円,超音波治療技術 400,000円	
事業費計		196,100,000	241,300,000		
事務費	人件費	32,485,000	36,000,000		
	会計顧問料	500,000	500,000		
	福利厚生費	710,000	710,000		
	法定福利費	3,800,000	3,800,000		
	職員交通費	1,510,000	1,490,000		
	事務所賃借料	8,140,000	8,140,000		
	事務用機器賃借料	630,000	630,000		
	備品費	500,000	500,000		
	文具消耗品費	700,000	700,000		
	光熱水料	750,000	750,000		
	事務OA化費	1,600,000	1,000,000		
	会議費	3,200,000	3,300,000		
	印刷費	1,690,000	1,640,000		
	通信費	4,000,000	3,750,000		
	公租公課	1,250,000	1,300,000		
	雑費	700,000	700,000		
	払込手数料	1,300,000	1,300,000		
選挙関係費	2,000,000	50,000			
事務費計		65,465,000	66,260,000		
特定預金支出	退職給与引当預金支出	550,000	1,100,000		
	選挙関係積立預金支出	0	1,000,000		
予備費		500,000	500,000		
当期支出合計		262,615,000	310,160,000		
当期収支差額					
次期繰越収支差額					

(資料6)

社団法人日本超音波医学会 平成14・15年度役員及び評議員

(自平成14年6月3日 至平成16年度通常総会開催日)

理事長	跡見 裕						
副理事長	菅原基晃	松崎益徳					
理事	秋山いわき	伊東紘一	遠藤信行	岡井 崇	金井 浩	北畠 顕	工藤正俊
	里見元義	椎名 毅	千田彰一	竹中 克	田中幸子	棚橋善克	谷口信行
	鄭 忠和	名取 博	別府慎太郎				
監事	秋本 伸	伊東正安					
評議員	秋山隆弘	飯島尋子	飯沼一浩	井内 新	石川洋子	石田秀明	石光敏行
	伊藤秀一	伊藤 浩	伊藤嘉信	乾 和郎	入江喬介	岩瀬正嗣	上田光宏
	上松正朗	宇都宮俊徳	梅村晋一郎	浦岡佳子	遠藤登喜子	遠藤正章	大石 元
	大江 宏	大木 崇	大平悦三	大槻茂雄	大村健二	大森浩二	大柳光正
	岡 博子	岡崎敬久	小笠原康夫	小川真広	小澤優樹	小野尚文	小野良樹
	小野寺博義	尾本きよか	梶谷文彦	春日井博志	片岡慶正	片倉景義	加藤保之
	金光敬一郎	亀岡信悟	唐沢英偉	川合宏哉	川内章裕	川嶋栄司	神田良一
	木田光広	貴田岡正史	木原康樹	工藤信樹	久保光彦	熊田 卓	黒肱敏彦
	小井戸一光	神崎修一	上妻志郎	國分茂博	紺野 啓	税所宏光	斎藤明子
	斉藤雅人	斉藤裕輔	酒井輝文	坂口正剛	佐々木 明	佐々木勝己	佐藤 裕
	真田純一	汐崎 陽	下村壯治	菅原智子	鈴木彰文	須藤俊之	住野泰清
	須山正文	諏訪道博	瀬尾育式	高沢謙二	高田悦雄	高橋正一郎	高本真一
	宝田 明	竹内和男	田中伸明	田中康博	田内 潤	千葉 裕	千葉喜英
	千原國宏	辻本文雄	戸原恵二	中尾伸二	長川達哉	中島美智子	中谷 敏
	中村一彦	中村憲司	中村昌平	中村武史	中山 淑	名取道也	西村敏博
	沼田 功	野崎士郎	橋本 浩	秦 幸吉	畠 二郎	秦 利之	畑 洋一
	羽田勝征	蜂屋弘之	濱滝壽伸	林 輝美	林 亨	原 量宏	原田烈光
	万代恭嗣	東泉隆夫	菱田 仁	平井都始子	平井寛則	平田健一郎	平田真美
	平間 信	廣岡芳樹	福井 洋	福重淳一郎	福田信夫	藤田直孝	藤本真一
	堀口祐爾	本田伸行	幕内雅敏	真口宏介	真島康雄	舛形 尚	増澤信義
	益澤 学	増山 理	町山 晃	松田康雄	松谷正一	松村 誠	松元 淳
	松本廣嗣	三神大世	水重克文	三谷正信	皆越真一	嶺 喜隆	三原謙郎
	宮武邦夫	村田和也	望月 剛	森 秀明	森田久樹	森安史典	八木晋一
	安田是和	柳原敏宏	山雄健次	山口 徹	山越芳樹	山下裕一	山田博康
	山中桓夫	山根隆明	山本克之	尹 聖哲	横沢 保	吉川純一	吉川義博
	吉田 寛	米倉修二	林 英幸	渡辺五朗	渡邊精四郎		

(資料7)

除名者

(平成14年3月31日現在該当者)

361名

内訳 正会員 273名(うち在外会員4名)

準会員 87名

学生会員 1名

賛助会員 0社

(資料8)

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. ヒラタ ツネオ
平田 經 雄 氏

第4回特別学会賞

岡 益 尚(大阪厚生年金病院)

前田一雄(老人保健施設あけぼの)

第1回松尾賞

別府慎太郎(大阪大学)

椎名 毅(筑波大学)

第2回技術賞

Pulsatile FlowDetection

鈴木陽一 地晩隆夫 片岡宏章

Fusion 3D

山形 仁 江馬武博 田中裕子 橋本新一 神田良一

第16回菊池賞(論文賞)

基礎領域

高フレームレートカラードブラ法のための選別された位相情報を用いるドブラ周波数推定法28(1)
田中直彦 大槻茂雄

循環器領域

新しい広域帯15MHzリニア電子走査型探触子による筋性中動脈計測精度の検討28(2)
山田 聡 三神大世 西原馨子 三竹 毅 泉 美喜雄 吉田尚浩 花岡明彦 呉 迪
小室 薫 小野塚久夫 藤井 聡 北畠 顕

Age-RelatedChanges inDiastolic AtrioventricularAnnularVelocity: Studies UsingPulsed
Doppler TissueImaging28(Autumn)
Nobuo FUKUDA Hisanori SHINOHARA TakeshiSOEKI KoichiSAKABE Yukiko ONOSE YoshiyukiTAMURA

腹部領域

肝の超音波組織性状診断に関する研究
- ラット繊維化肝におけるROIの分割化によるRF信号の包絡振幅のヒストグラム解析 -28(4)
藤井康友 谷口信行 高野隆一 王 怡 重田浩一朗 尾本きよか 小野倫子 佐藤 泉
伊東 紘一

Post-tumoral DistortedVascular Images: Diagnostic Problem of Sonogram28(Autumn)
Atsushi UNO HideakiISHIDA Kei KONNO YukiHAMASHIMA Hiroko NAGANUMA TomoyaKOMATSUDA
Michiko SATO Sumio WATANABE

【顕彰委員会】

委員長

菅原基晃

副委員長

里見元義

委員

(基礎)秋山いわき 椎名 毅
(消化器)秋本 伸 斉藤 明子 渡辺 五朗
(循環器)高沢 謙二 竹中 克 吉田 清
(産婦人科)上妻 志郎
(泌尿器)齊藤 雅人 中村 昌平
(総合)小西 豊 谷口 信行

以上15名